

麻見江ホスピタルだより

第 18 号

平成 31 年 3 月 1 日 発行

麻見江ホスピタルは療養生活を快適に過ごして頂けるよう、ゆったりとした広く明るい病室で、行き届いた医療と常に思いやりと優しさを基本とした看護を心掛けた療養型病院です。

医療法人眞美会 麻見江ホスピタル理念

「健康こそ人生最高の宝」を基本とし、食を中核とした医療の提供、そして「ハートからハート」を基本に「真心の医療」を提供します。

基本方針

医療法人眞美会は基本方針に基づきご利用の皆さまに適切な、「医療」「保健」「福祉」サービスを提供します。

1. ご利用の皆様の権利を尊重します
2. 安心して暮らせる地域づくりの推進
3. ご利用の皆様の満足度の向上

☆ 院 内 行 事 ☆

当院ではレクリエーションの一環として定期的に「ものづくり教室」や「カラオケ大会」を開催しています。季節によりその季節に合ったイベントも開催しております。ものづくり教室では講師の作品見本を基に患者様方に手芸作品を制作して頂いています。カラオケ大会では本格的なカラオケ機材を使用してのカラオケです。

今年度の下半期にはイベントとして「すし御膳」と「クリスマス会」を行いました。こうしたイベント時にはいつもと違う患者様方の生き生きとした表情等をされます。患者様に喜んで頂くだけではなく、患者様の喜ばれる姿を拝見するのは当院の職員の励みにもなっています。

『平成 30 年 10 月 25 日 すし御膳』

当法人の和食の経験者が本格的な寿司を握り、茶巾や椀物、デザートも付いた寿司御膳を参加した患者様に召し上がって頂きました。各担当者が丁寧に準備を行っていたものです。ボリュームのある寿司御膳にも関わらず、完食される方も多く、普段は食の細い方もたくさん召し上がっていらっしゃいました。中には完食された上にお替りする方が居たほどです。ご参加された患者様方からは大変な好評であり、皆様からお褒めの言葉を頂戴しました。



『平成 30 年 12 月 13 日 クリスマス会』

今年 12 月に入り、クリスマス会を行いました。職員を中心としたクリスマス隊が集まり、各病棟を訪れ、患者様方にお菓子のプレゼントを行いました。クリスマス隊には職業体験に来ていた町内の中学生にも参加して頂きました。元気で明るい中学生の方々のクリスマス隊への参加でご自身のお孫さんや曾孫さん位の年齢の中学生の訪問で患者様方も感激されていました。また、訪問時には「ジングルベル」の音楽でクリスマス隊が訪問したのですが、楽器の得意な職員が訪問した各病棟にて生演奏を行いました。楽器の演奏があると盛り上がり方がちがいます。そんなクリスマス隊が各病棟を訪問してクリスマスプレゼントのお菓子を患者様方へお配りしました。



<各 部 署 員 紹 介>

本紙面を借りまして日々業務に勤しんでいる当院の各課より、業務内容や職員の紹介をさせていただきます。今回の部署は栄養担当部門のご紹介です。

当院は「食を中核とした医療」を理念としています。当院を含め、よし乃郷グループの理事長が管理栄養士ということもあり、日々、食べたい時に、食べたいものを、食べられるだけ召し上がっていただけるように、私たち職員に患者様への思いを話していただいています。私たち栄養担当職員は理念や理事長の思いに基づき、栄養管理を実施しています。当院の入院患者様には嚥下障害を抱えている方が多くいるなか、「少しでも口から食べていただくこと」に努めています。また、療養生活のなかでより食事を楽しみに思っていたけるような取り組みとして、セレクト食や行事食、食事レクを実施しています。グループ内の給食を一括で調理している馬場地域支援館眞美セントラルキッチンが開所して2年が経過いたしました。セントラルキッチンでの調理により、グループ内の施設で生活をされていた利用者様が入院される際には、入院される前の生活と同じ食事を提供できるようになりました。セントラルキッチンができたことにより食を通しての連携が十分に取れるようになり、入院される前までと少しでも同じような療養生活に近づけることができました。今後も一人一人に寄り添った栄養管理を実施し、“ここの病院を選んでよかった”と思っていただけるように日々頑張っていきたいと思っております。

無 料 送 迎 実 施 中 ☆

無 料 送迎車 運行中



ご自宅まで送迎いたします
☎ 049-296-1155

※ご利用にはいくつか
条件がございます

当院では外来受診をされる患者様の無料送迎を行っております（要予約。送迎地域は鳩山町内等の指定地域のみのご利用となります。ご自宅から当院間の送迎利用のみです）。

広々としたスライドドアは乗り降りも良好、プチバンタイプなので広い車内や居住性も良好でご好評を頂いております。

お問合せは…

電話： 049-296-1155 総務担当まで

＜平成 30 年度職員旅行＞

当法人では職員の福利厚生と職員の親睦を兼ねて職員旅行を行っております。今年度の旅行は伊香保旅行となりました。職員同士の交流や活力の維持の為に温泉旅行となりました。



★サービス付き高齢者向け住宅★



『サービス付き高齢者向け住宅 眞美』

電話 049-277-3185



『サービス付き高齢者向け住宅 麻見江』

電話 049-299-6813

『サービス付き高齢者向け住宅 眞美』及び「サービス付き高齢者向け住宅 麻見江」はご好評により現在は満室となっております。施設は緑豊かな好立地条件だけではなく、隣設する提携病院への受診連携が迅速である事もお好評を頂いております。ご興味のある方はお問い合わせ下さい。ご見学や入所の相談は随時承っております。各施設の空室状況のお問い合わせも担当者へご連絡下さい。

☆ 編 集 後 記 ☆

近頃は2020年の東京オリンピックに向けた様々な物を目にする様になって来ました。日本の「おもてなし」と言う言葉も聞かれますね。さて、今回はおもてなしにも関わる事ですが「日本人は親切か？」についてのつぶやきをしてみたいと思います。以前、知人のブログに日本人は親切か？という内容が載っておりました。外国で生活している高齢の親御様が東南アジアを中心に旅行した際には、どこの国でも電車やバスでは席を譲られたそうです。しかし、日本に来ると高齢の人が席に座れずに立っただけでも若者や中年世代の方は席を譲る事が無い。日本人は高齢者に対しても席を譲ることが無い、と言うのが驚きだったそうです。勿論、日本人の中には席を譲る人もいます。しかし日常の風景として諸外国程には目にしないのでしょうか。諸外国では見知らぬ人であっても高齢者や妊婦、幼児連れ、障がいのある人には勿論、困っていれば手伝いをする事は日常の光景だそうです。しかし、日本人はそうではない。解り易く言うと、目の前で転んだ人がいたら諸外国では見ず知らぬ人同士でも手を差し伸べるけれども、日本人は知らぬ顔をして通りすぎるというのです。日本人の中にも諸外国と同じ様な行動をする人はいるでしょうけれども、諸外国の様に多数派ではないようです。編集長は日本人として少し反論したい気持ちはありましたが、否定できない面もあり、納得する内容も有ります。東京オリンピックに向けておもてなしの心を持ちましょう、と言うだけではなく社会の日常として困った時はお互い様、と助け合いが出来るのが本当の「おもてなし」ではないかと思うのでした。偉そうな事をつぶやいた編集長ですが、まずは自分自身を律する事から始めないといけません。

今回の18号発刊日は編集長の愛娘の7歳の誕生日となります。来月からは小学二年生となり、一年生と言う年下の子達が入学して来ます。二年生となるとどの様な変化や成長があるか興味津々の編集長です。

—編集長—